



高崎市立西部小学校

西部小学校環境活動の取り組み



1 環境美化・栽培活動

2 省エネ・リサイクル活動

1 環境美化・栽培活動



環境福祉委員会では、赤十字でいただいた花の種を植えたり、地域の方からいただいたバンジーの苗を植えたりしました。正門の花壇や玄関前の植栽の周りに季節の花が咲き、来校者を癒やしています。

植物を育てることを通して、周りの人に対する思いやりや優しい気持ちも育てほしいという気持ちをこめながら、植物の成長を見守っています。

「美しい環境は豊かで美しい心を育てる」という気持ちをこれからも大切に活動を続けていきます。



3年生は、地域の特産品である桃の栽培を地域の方の指導のもとに行っています。桃の世話を通して、植物の育ち方、命のつながり方、そして桃作りに取り組む地域の皆さんの思いを学んでいます。今年度は7月中に収穫を行うことができ、うれしそうに持ち帰りました。おいしい桃を作るには多くの労力と努力と愛情が必要なことを体験から学んでいます。



おいしい桃が収穫できました。

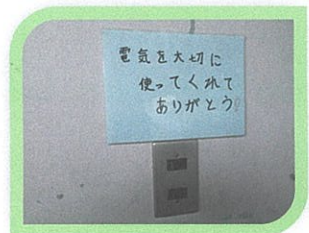


西部小学校に入るとすぐに、「心の池」があります。池の主である大きな錦鯉2匹と、たくさんの金魚が泳いでいます。20分休みに環境福祉委員会の当番が餌やりをしたいせつに育てています。子どもたちの姿をみると、すぐに集まってきて、子どもたちもかわいがっています。夏休みの親子奉仕作業のとき、PTAの方が中心となり、池のそじをしてくださいました。これからも植物や生き物の命を大切にして、西部小の良い環境を守り続けていきたいと思っています。

2 省エネ・リサイクル活動



- 省エネのため、
- ・使わない電気はこまめに消す
 - ・エアコンの設定温度を 26～28℃にする
 - ・水を流しっぱなしにしない
 - ・紙などリサイクルできるものはリサイクルする
- などを委員会ではびかしています。



感染症の広がりのため、児童玄関で行っていたペットボトルキャップの回収(エコキャップ回収)は、職員室だけで行いました。以前の環境福祉委員が中心となって集めたペットボトルキャップと、職員が集めたキャップ、区長さんから預かったキャップで合計80.7kg(12袋)も回収できました。これは病気を予防するワクチンや震災の被災地などに義援金として姿を変えて届けられます。また、エコキャップ回収によって、二酸化炭素の発生を抑えることができ、SDGsの観点からも取り組んでいきたい活動です。今後、感染症の状況を見ながら、児童への呼びかけも再開していけたらと考えています。

↓コロナ前の委員会活動



集まったペットボトルキャップ

